



まちの話題



永徳寺懐古館に展示されている農機具を持ち出し説明を行う



農 地域おこし協力隊の出前授業 機具を教材にして学ぶ

町地域おこし協力隊の岩隈大樹さんと板垣泰之さんは2月16日、三ヶ尻小学校（川戸司朗校長、生徒111人）の3年生17人を対象に、昔の農機具を教材にした出前授業を行いました。

協力隊から昔ながらの生活にまつわるクイズを出題されると、子どもたちは知識や感覚を頼りに回答。千葉好穂さん＝永楽西広町＝と相澤七郎右工門さん＝西根大沢＝が農機具の使い方を実演すると、初めて見る農機具に目を輝かせていました。

受賞報告に訪れた鈴木所長（中央）と佐藤修子社会教育指導員（左）



三 町内で3館目の優良公民館表彰 三ヶ尻地区公民館が受賞

三ヶ尻地区公民館（三ヶ尻地区生涯教育センター）は3月1日、第69回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）を受賞しました。「天まで届け復興の祈り」凧揚げ大会&B級グルメ大会など、地域住民が一体となった活動を積極的に展開していることなどが評価されました。

鈴木洋所長は「地域に開かれたセンターを目指して事業を展開している。受賞を契機に地域一体となった一層活力あるセンターにしていきたい」と話していました。

俳 俳句を通じて活動への理解を広げたい 句コンテストで団体賞受賞

日本赤十字社の第11回「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」で、町赤十字奉仕団が一般の部団体賞に選ばれました。日常の生活を題材に団員が詠んだ俳句27点を応募。団体賞の受賞は3年連続となりました。氏家富士子委員長は「俳句を通じて奉仕団活動への理解を広げていければ」と話していました。



受賞の報告に訪れた氏家委員長（右から2人目）と団員のみなさん

シルバー人材センターの会員の前で講演する齋藤所長



交 普段から車線状況の確認を 交通安全教室で注意を呼び掛け

町シルバー人材センター（小野寺逸夫理事長）は2月22日、町民菜園パークで交通安全教室を開催しました。講師を務めた水沢警察署金ヶ崎交番の齋藤洋行所長は、最近の道路改良に伴うレーンの変更や増設に触れ、「普段から車線の状況を確認しておくように」と呼び掛けていました。

60 金ヶ崎中学校第8回卒業生 歳の還暦祝いで母校に寄付

金ヶ崎中学校第8回卒業生で60歳年祝の「暁 倏連」は2月16日、金ヶ崎中学校に、還暦祝いで集めた125,000円を寄付しました。

会長の吉田啓治さんは「学校に必要なものに充てて欲しい」。遠藤宗俊校長は「新しい本の購入や施設の整備などを検討したい」と話していました。



遠藤校長（左）に寄付金を手渡す吉田会長（中央）

パネルディスカッションでは鳥海柵跡の活用について提案された



鳥 専門家らの講演などで理解を深める 海柵跡シンポジウムを開催

国指定史跡鳥海柵跡シンポジウムは2月11日、中央生涯教育センターで開催されました。東北学院大学の佐川正敏教授が「鳥海柵の発掘調査成果と周辺遺跡から見た安倍氏の時代」と題して講演。その他専門家らのパネルディスカッションなどで、鳥海柵跡の整備や活用の仕方などを考えました。